

VACUUMER

(222301)

取扱説明書

- ・ あなたの安全を守るため、作業に入る前にこの取扱説明書をよく読み、十分内容を理解すること。
- ・ この取扱説明書を必要なときすぐ読めるように、常に所定の場所に保管すること。



リ्यूベ株式会社

はじめに

本装置の用途について

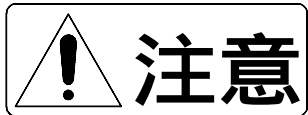
本装置 VACUUMER は、機械等への潤滑に用いた不要グリースの吸引を行なうための装置です。
これ以外の用途には使用しないでください。

本説明書に使用のマークについて

この説明書では、身体に障害を招く事故を防止するための安全注意事項を以下のマークを付けて表示しています。これらのマークが付いた注意事項を必ず読み、完全に内容を理解してから作業を始めてください。



記載事項を守らないと、死または重度の障害を負う恐れのある事項



記載事項を守らないと、軽度または中程度の障害を負う恐れのある事項

また、この説明書では、以下のマークが使われています。この装置を正しくご使用いただくために、これらのマークが付いた事項を必ずお読みください。



作業時に気をつけるべき事項です。
この装置や機械本体の破損を招く恐れがあります。



作業の際に参考となる情報です。



参照する項目を示します。

質問問い合わせ先

この説明書の内容について質問や不明点がありましたら、下記までお問い合わせください。

日本
リューベ株式会社 本社
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田 3-30-16 (ホリゾン 1ビル)
TEL:03-3204-8431 FAX:03-3204-8520
URL <http://www.lube.co.jp>

中国
魯布潤滑機械(上海)有限公司
上海市外高橋保稅区泰谷路 88 号 3 F - C
TEL: 021-5868-3818 FAX:021-5868-3880

U.S.A
LUBE USA , Inc.
781 Congaree Road, Greenville, S.C. 29607
TEL:800-326-3765 FAX:864-242-1652

仕様変更について

装置の改良にともない、この説明書に記載されている説明や図が実際の装置と多少異なることがありますので、あらかじめご了承ください。

装置の転売 / 貸与について

装置を転売したり貸与する場合は、この説明書及び装置納入時に添付されていた書類一式を装置とともにお渡しください。

装置 / 潤滑剤の廃棄について

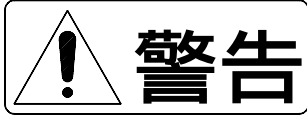
装置またはグリース・潤滑油を廃棄する場合は、国と地方の定める法律・規則に従って処理してください。

目次

はじめに	1
目次	3
1．安全上の注意事項	4
1 - 1 基本的安全注意事項	4
1 - 2 ラベル	4
1 - 2 - 1 ラベルの種類	4
1 - 2 - 2 ラベルの貼り付け位置	4
2．仕様と概要	5
2 - 1 仕様	5
2 - 2 各部の名称	5
3．ご使用される前に	6
3 - 1 使用環境条件	6
3 - 2 持ち運び	6
3 - 3 配管接続方法	6
4．吸引と廃棄について	7
4 - 1 吸引可能グリース	7
4 - 2 グリース廃棄方法	7
5．保守整備について	8
5 - 1 トラブルシューティング	8

1.安全上の注意事項

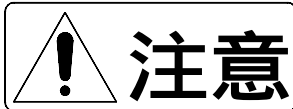
1-1 基本的な安全注意事項



- ・この説明書をよく読み、内容を完全に理解してから作業に入ること。
- ・この説明書は、必要なときすぐ読めるよう、所定の場所に保管すること。
- ・この装置の取り扱いは、VACUUMER の設置・調整の知識と技能を持つものだけが行なうこと。
- ・当社の許可なく、この装置を改造したり、変更したりしないこと。

1-2 ラベル

この装置には、次のラベルが貼り付けられています。もしラベルが汚れたり傷ついたりして読みにくくなったときは、すぐに当社にお申し出ください。新しいラベルを送付いたします（有償）。

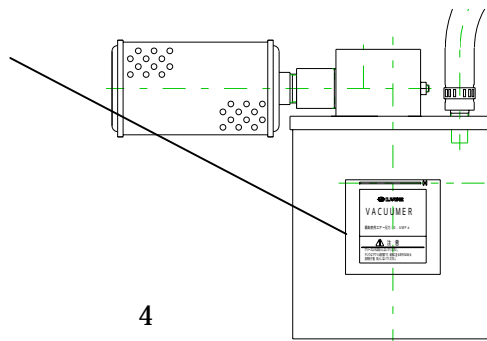


- ・この説明書をよく読み、内容を完全に理解してから作業に入ること。

1 - 2 - 1 ラベルの種類



1 - 2 - 2 ラベルの貼り付け位置



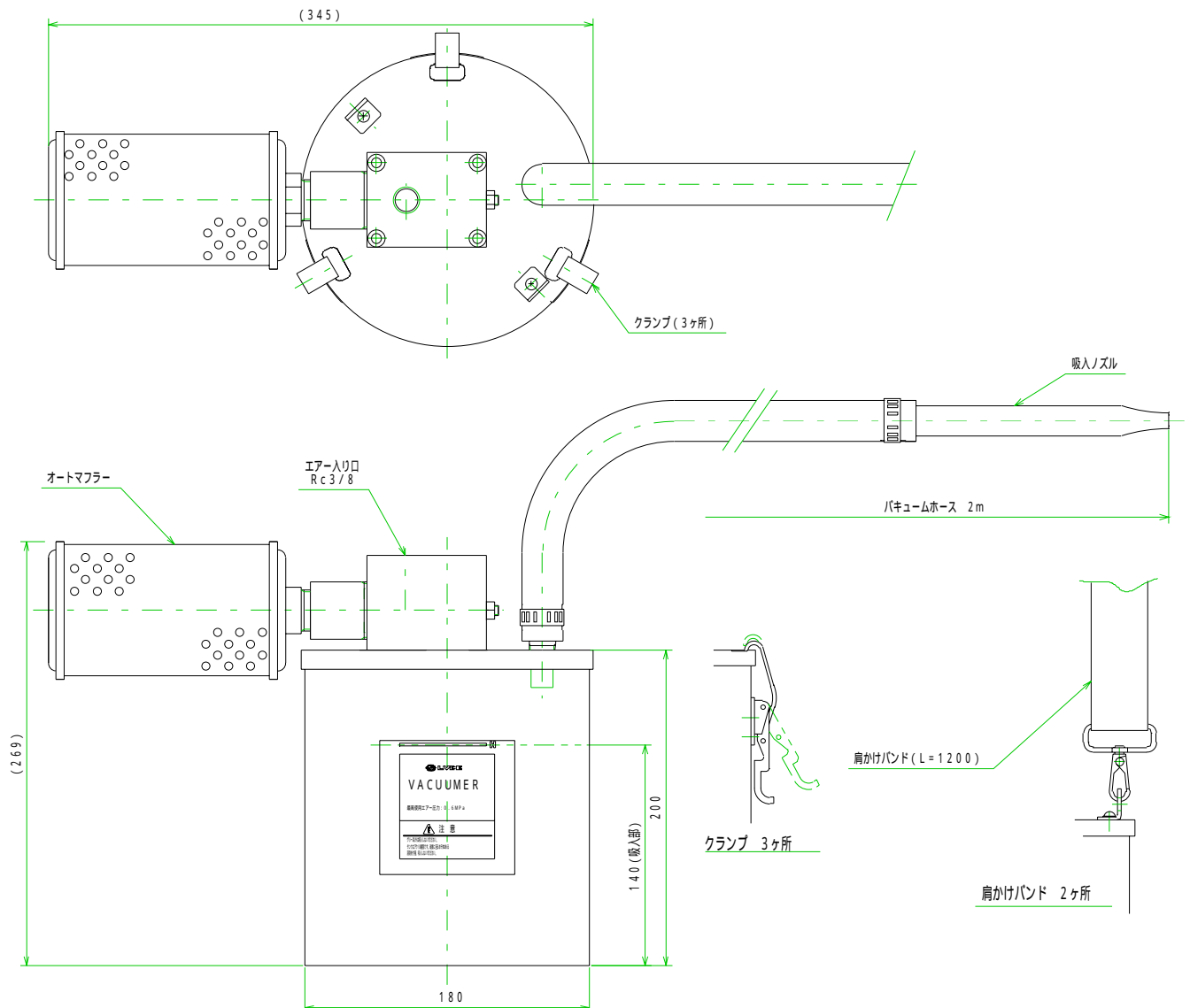
2.仕様と概要

2 - 1 仕様

項目	仕様
使用エア-圧力	0.5 MPa
吸引力	- 0.033MPa (エア-圧力 0.5 MPa 時)
吸引可能グリース	N L G I 000 , 00 , 0 , 1 注意 1
吸入タンク有効容量	3 リットル
重量	3.4 Kg (装置のみ)

注意 1 ; NLGI 1 は 20 以上で使用ください。

2 - 2 各部の名称



3 . ご使用される前に

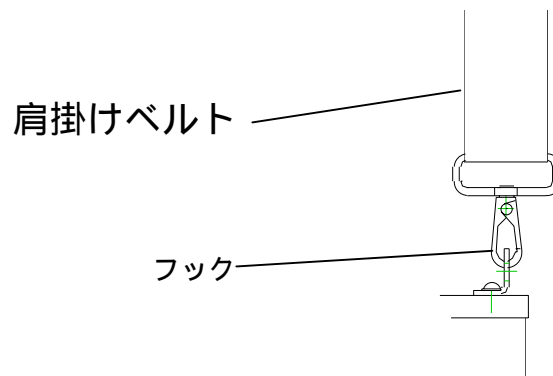
3 - 1 使用環境条件

このポンプは、下記の環境で使用してください。

- ・ 周囲温度 : 0 ~ + 4 0
- ・ 湿度 : 3 5 ~ 8 5 % R H

3 - 2 持ち運び

装置の持ち運びは、肩掛けベルトを使用ください。
ベルトのフック 2 ヶ所を確実に通してください。



3 - 3 エアー配管接続方法

エアー配管接続口 (R c 3/8) に 0.5MPa に圧力調整したエアー配管をしてください。

0.5MPa 時に約 250NI/min のエアーを消費します。供給エアー源の確認をしてください。



最高使用エアー圧力は 0.6MPa です。
0.6MPa 以下で使用してください。



エアー加圧中は連続で吸引をおこないません。
エアー遮断用コックバルブ等を取り付けると作業に便利です。

4 . 吸引と廃棄について

4 - 1 吸引可能グリース

潤滑用グリースの吸引に使用してください。

ISO稠度 000 ~ 1の範囲内で使用してください。



推奨以外のグリースには使用しないでください。
稠度 NO.1 以上のグリースは、吸引ホース内に付着し詰まりの原因になります。
NO.1 は 20 以上で使用してください。



吸引するグリースに溶解性のある溶剤等が混入しているとタンクの破損につながります。
アクリル樹脂にひび割れ、破損等の影響を及ぼす液剤は絶対に吸引しないでください。

4 - 2 グリース廃棄方法

タンク内のグリースが H レベル付近になったら廃棄してください。

3カ所のクランプレバーを上げるとクランプのフックがはずれタンクが離れます。



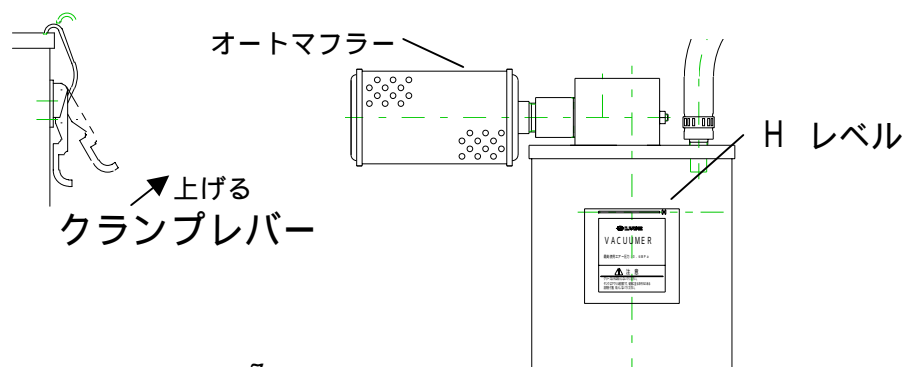
タンク内にグリースが溜まりすぎると、排気口へ流れ込んでオートマフラーにつまります。
必ず H レベル以下で使用してください。



廃棄グリースは、国と地方の定める法律・規則に従って処理してください。





あらかじめタンク内に合うビニール袋を取り付けておくと、廃棄が容易にできます。



5 . 保守整備について

5 - 1 トラブルシューティング

トラブルが発生したときは、下表に従い、処置を行なってください。

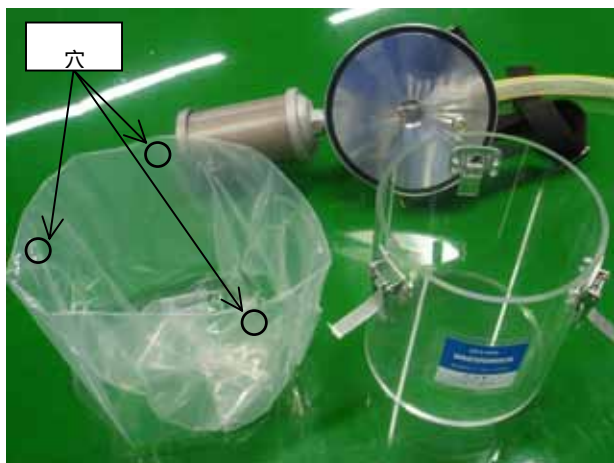
現象	原因	処置
吸い込まない	エアーが供給されていない	エアー配管接続をしてください  “3-3 エアー配管接続方法” を参照してください
	エアー圧力が低い	エアー圧力調整をしてください  “3-3 エアー配管接続方法” を参照してください
	タンクシールからのもれ (つぶれ、はずれ)	クランプ(3ヵ所)を締め直す シールパッキンを交換する
	オートマフラーの目詰まり のためエアー排気しない	オートマフラーの清掃・洗浄を する
	ノズル、ホースにグリース が充満している	潤滑油等を流し込み一緒にタンク内に吸引する グリースの硬さを確認する

アクリル樹脂の耐溶剤性

- ・溶解性のある溶剤またはその蒸気にふれるとクレージングの発生があります。これらの溶剤を含む塗料、シンナー等の使用場所での取り扱いには注意してください。
- ・ケトン類、エステル類、芳香族炭化水素、低級脂肪酸、一価アルコール、エーテル、塩素化炭素、硫化炭素等を含有する液剤は絶対に吸引しないでください。

【参考資料】

タンク内へビニール袋を装着する場合は以下の手順を参考にしてください。



クランプレバー 3 ヲ所をあげ、タンクを外します。

ビニール袋を用意し、タンク内に合う大きさにします。

市販ビニール袋をご使用の場合、タンクHラインより上の位置に来るように5、6 mm程度の穴を3、4 ヲ所開けてご使用ください。



用意したビニール袋をタンク内に入れます。



もとのように蓋をしてクランプレバー 3 ヲ所でしっかり固定してください。

この時、パッキンを挟み込まないように注意してください。